

## 全国自治体 ICT サミット 声明文

我が国は、経済成長の低下や環境問題、少子高齢社会の到来など様々な課題に適切に対応し発展していく必要があり、地域のことは地域に住む住民が責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会をつくる、地域主権型社会の構築が進みつつあります。

このように、自治体を取り巻く環境や枠組みが大きく変化する中で、様々な分野において自治体の果たすべき役割はますます大きくなっており、社会的課題解決の切り札として、情報通信技術（ICT）に期待が集まっています。

そのため、自治体が直面する様々な行政課題や地域課題を解決するにあたり、地域の状況を反映した、真に市民に役立つ ICT の利活用を推進することが重要であり、国の政策決定過程においても、地域ごとにそれぞれ異なる状況を把握し、特徴ある取組を活かしていくことが求められています。

われわれ自治体は、ICT 利活用のあるべき姿や行政が分担すべき役割を分析し、市民サービスの向上および行政事務の簡素効率化を推進するとともに、豊かで安全な市民生活の実現に向けて、以下の取組を連携・継続して進めることをここに呼びかけます。

- 一、 私たちは、ICT の利活用を市民の目線で進め、真に市民生活の質の向上に寄与する情報化を進めます
- 一、 私たちは、市民の ICT 利活用に関する意見の集約につとめ、国の政策への反映をめざします
- 一、 私たちは、相互にネットワークを構築し、地域の課題解決に繋がる事業に連携し、継続的に取り組みます

平成 22 年 11 月 22 日

秋葉 忠利	(広島市長)	市原 健一	(つくば市長)
井上 正嗣	(宮津市長)	海老根靖典	(藤沢市長)
大石 弘秋	(仁淀川町長)	大豆生田実	(足利市長)
亀井 義昭	(中川町長)	岸本 英雄	(玄海町長)
草間 吉夫	(高萩市長)	田上 正男	(上松町長)
高倉 秀信	(東峰村村長)	竹内 是俊	(会津坂下町長)
椿原 紀昭	(栗山町長)	露木 順一	(開成町長)
豊田 征夫	(芳賀町長)	中川 暢三	(加西市長)
西川太一郎	(荒川区長)	野田 侃生	(国東市長)
橋本 祐輔	(豊後大野市長)	服部 信明	(茅ヶ崎市長)
福原慎太郎	(益田市長)	本田 修一	(志布志市長)
本田 敏秋	(遠野市長)	牧田 久	(美馬市長)
松尾 崇	(鎌倉市長)	山口 昇士	(箱根町長)
山中 光茂	(松阪市長)	森 博幸	(鹿児島市長)

(五十音順)

立会人： 慶應義塾大学総合政策学部長 國領二郎

## ICT 自治体連携協議会の発足について

現在、11月22日に開催される「全国自治体ICTサミット」において、声明文案を議論していますが、その中で「相互にネットワークを構築し、地域の課題解決に繋がる事業に連携し、継続的に取り組みます」ことを明記しています。

この実現のためには、「全国自治体ICTサミット」の開催後も、継続的に連携して課題解決等に取り組む“場”が必要と考えます。

我々はこのような連携の“場”として、「(仮称)ICT自治体連携協議会」を立ち上げることを考えており、自治体間のネットワークを構築し、様々な情報交換や交流、事業展開等を連携し継続して取り組むことで、真に市民に役立つ、様々な地域課題の解決を実現できるものと考えます。

つきましては、貴市におきましても本協議会へのご参画について、是非ともご検討をいただきたくお願いするものです。

平成22年11月22日

### 発起人

秋葉 忠利	(広島市長)	海老根靖典	(藤沢市長)
大豆生田実	(足利市長)	亀井 義昭	(中川町長)
岸本 英雄	(玄海町長)	竹内 是俊	(会津坂下町長)
露木 順一	(開成町長)	豊田 征夫	(芳賀町長)
中川 暢三	(加西市長)	西川太一郎	(荒川区長)
野田 侃生	(国東市長)	橋本 祐輔	(豊後大野市長)
服部 信明	(茅ヶ崎市長)	本田 修一	(志布志市長)
本田 敏秋	(遠野市長)	牧田 久	(美馬市長)
松尾 崇	(鎌倉市長)	山口 昇士	(箱根町長)
山中 光茂	(松阪市長)	森 博幸	(鹿児島市長)

(五十音順)